

「やまと社会インパクトファンド」の取組が地方創生事例に選定

奈良県および周辺の「やまと地域」における社会課題の解決と、実践者の輩出を目的に設立された「やまと社会インパクトファンド」の取組が、内閣官房および内閣府が公表する令和7年度『地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例』』に選定されました。

当ファンドは、当行の投資専門子会社である南都キャピタルパートナーズ株式会社と、株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズが運営する地域課題解決型のファンドで、解決すべき地域課題の特定から、投資候補先の選定、投資後の伴走支援、キャピタリストの育成等に一貫して取り組む点が評価されたものです。

今後も当ファンドを活用し、「やまと地域」の社会課題の解決に取り組んでまいります。



(左から)株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ代表取締役 青木 武士氏、津島淳内閣府副大臣、南都キャピタルパートナーズ株式会社代表取締役社長 堺 敦行

「飛鳥・藤原世界遺産登録応援定期預金」について

当行は、奈良県の歴史文化資産の1つである「飛鳥・藤原の宮都」*の魅力を次世代へ継承する活動を応援するため、2025年12月から2026年2月まで「飛鳥・藤原世界遺産登録応援定期預金」を募集しました。

本商品は、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に向けた取組にご賛同いただける全国のお客さまを対象とした定期預金です。お預け入れいただいた定期預金の総額の0.01%相当額を当行が奈良県に寄附し、世界遺産登録推進の活動に役立てていただくことを目的としたものです。

今般、多くの皆さまにご賛同いただいた結果、お預け入れ総額は、当初想定していた募集上限の300億円に達しました。

*「飛鳥・藤原の宮都」は奈良県内で4件目の世界文化遺産登録を目指す遺跡群です



